

小 2025 年度  
伊東市立八幡野小学校  
グランドデザイン

学校教育目標

進んで学び 思いやりいっぱい やんもの子



切り絵（水口千令 作）

重点目標

262人 みんなが主人公

主人公：自己認識力を身に付けた子

自分のよさや強み・弱み、好き・得意、  
感情、考え方、価値観等を知り、それを生  
かし、周りと適切に折り合いをつける力

〈子どもの実態〉

- ・素直
- ・人と関わることが好き
- ・決められたこと、頼まれたことに一生懸命取り組む
- ・自分の「よさ」「好きなこと」「得意なこと」に気付いていない
- ・自分に自信がもてず、指示されるのを待っている

〈国の方針〉

- ・持続可能な社会の創り手の育成
- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

〈県の方針〉

- ・「有徳の人」の育成

〈市の方針〉

- ・夢と希望をもつ子どもの育成
- ・夢や希望を育む園・学校の基盤
- ・危機管理体制の徹底
- ・防災教育の推進

学校経営目標

- ・その子らしさを味わい、引き出し、共に学校生活を楽しもう
- ・目標の達成に向け、教職員・子供間で対話し、目標・手立て決め、取り組もう
- ・個々の「強み」や「キャリアプラン（チャレンジプラン）」を生かし、学年団で協働して教育活動に当たろう
- ・豊かな人として、子供・保護者・同僚に関わろう

目標達成のための2つの柱

授 業

令和7年度研修テーマを  
「自分らしく学び合う子どもたち」と設定した。  
「教師が生活の様々な場面（教科学習 自分友達活動 学校生活 行事 家庭での様子など）から、その子らしさをとらえつづけることに努め、それらを単元構想や授業構想に生かし、他を求めようとする機会を設定することで、自分らしく学び合う子どもたちを育てることができるよう。」と研修仮説を立て、授業実践を行う。

自分・友達活動

子ども一人一人の自己認識力を高めるために「自分・友達活動」を行う。ステージ毎に、

- ① 新たな集団での自己のあり方や関わり方を探究的に学ぶ
- ② 体育の見方・考え方を働かせて探究活動をする
- ④ 自らのよさを発揮し、友達と協働して探究活動をする
- ⑤ 探究活動の中で発揮した自分や友達のよさや変容を認識し、発信する

をテーマとし、年間を通して自己についての探究活動を進める。1～2年生は「生活科」、3～6年生は「総合的な学習の時間」の中で行う。探究活動の場として、1～5年生は「学年団ペア」、6年生は「全校の縦割り班」を設定する。

「自分・友達活動」と、「特別活動」は目標・目的が異なるが、目標・目的を明確にし、相互に関わりをもたせながら活動を進める。

活動を焦点化するステージ制

1	2	3	4	5
「みんなが主人公」になるための授業のルールを考えよう 自分と友達のことを知ろう	自分と友達のよさを見つめよう	自分らしさを広げよう	自分のよさを生かしてつくりあげよう	自分らしくすすんで伝え合おう 自分と友達の成長を認めよう
入学式 学級・学年団デイ	運動会	音楽集会	我らが主人公 自然教室 修学旅行	児童大集会 6年生を送る会 卒業式

コミュニティ・スクールの推進（社会に開かれた教育課程・豊かな地域づくり）

学校運営協議会

- ・学校と地域が目標やビジョンを共有
  - ・学校運営の基本方針を承認
  - ・ゲストティーチャーとの連絡調整
- 〔八幡野小学校サポーター〕
- ・登下校見守り隊
  - ・花飾り隊
  - ・読書見守り隊